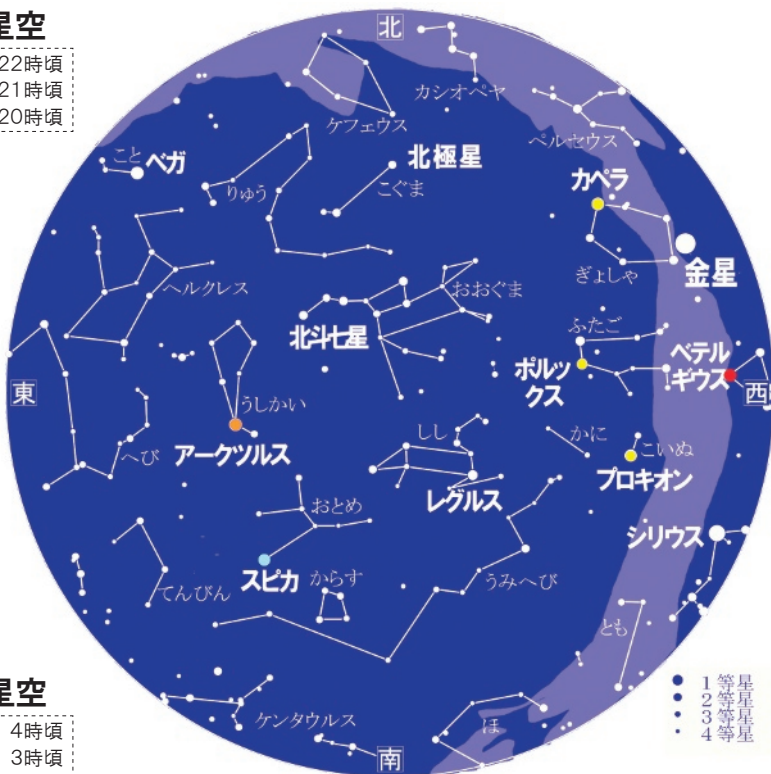


# 星空ガイド 4月16日～5月15日

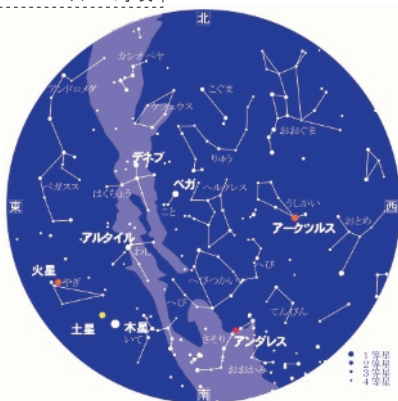
## よいの星空

4月16日22時頃  
5月 1日21時頃  
15日20時頃



## あけの星空

4月16日 4時頃  
5月 1日 3時頃  
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	5:25	18:31	1:58	12:10	22.7
	21	5:18	18:34	4:39	16:50	27.7
	26	5:13	18:39	7:09	21:34	3.0
5	1	5:07	18:43	11:35	1:08	8.0
	6	5:02	18:47	17:23	4:17	13.0
	11	4:58	18:50	23:02	8:00	18.0
	15	4:55	18:54	1:13	11:57	22.0

※惑星は2020年5月1日の位置です。

ステキな夕方の金星、夜中すぎの木星・土星、そして火星

年明けからずっと西空で輝く金星は、4月28日に-4.5等という最大光度になります。特に4月26日は三日月と共演する様子が見ものです。しかし、6月3日の内合が近づいており、観望好期も終盤を迎えています。内合は太陽と地球の間に金星が入る接近ですので、望遠鏡で見ると日々大きさが大きくなっていきます。アストロアーツ社のステラナビゲーターを利用したシミュレーションの図を示します。



図1. 望遠鏡でおおよそ150倍で見た金星の日々の変化(シミュレーション)

一方、前ページ「あけの星空」の図にあるように、ともに西矩(太陽と西に90度直角方向になる)を迎える木星と土星が、夜中すぎの空に並んだ様子が見られます。4月15日には下弦の月も加わり、おっかけ昇る火星とともに南東の空を賑わせます。

渡部 義弥(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	15	水	●下弦(8時)／木星が西矩 月と木星と土星が集まる
	16	木	土用の入 火星とアンタレスが接近
	19	日	穀雨
	21	火	月が最遠(406,500km) 土星が西矩
	22	水	4月こぞ流星群が極大(15時)
	23	木	●新月(11時)
	26	日	夕空に金星と月がならぶ
	28	火	金星が最大光度(-4.5等)
	29	水	昭和の日

月	日	曜	主な天文現象など
5	1	金	●上弦(6時)／八十八夜
	3	日	憲法記念日
	4	月	みどりの日
	5	火	立夏／こどもの日 水星が外合
	6	水	振替休日 月が最近(359,700km)
	7	木	○満月(20時)／みずがめ座 エータ流星群が極大のころ
	14	木	●下弦(23時)
	15	金	月と火星がならぶ